

特集記事 議員定数削減

16から14へ

4月選挙から適用



平成30年第4回定例会は、12月3日から12日まで、10日間の会期で行いました。定例会では、議案11件・委員会発議1件が提案され、原案どおり可決。請願は1件が継続審査、1件は不採択。陳情は1件が採択で、1件は不採択でした。

吉岡町議会議員定数 条例の一部改正

委員会発議



議会改革推進
特別委員会
(山畑 祐男 委員長)

提案理由

近年の社会情勢を鑑み、議会改革および町の財政改革の推進に資するため。

質疑

定例会初日、議会改革推進特別委員会からの議員定数を16人から14人にする、議員定数条例を一部改正する条例が上程されました。提案理由、質疑、討論を経て、即日採決され、賛成14反対1にて可決されました。次期4月選挙から適用となります。

今後、関係条例の見直しを行い、平成31年第1回定例会の上程に向け調整。

問 定数削減は、町民の声が届きにくくなる。提案理由の、近年の社会情勢がどのように変わってきたのか。どのように財政改革の推進に資するのか。

答 平成31年の選挙では、渋川・安中・みどり・南牧・中之条

問 十分な討議がされていない。迅速な採決をさせ、自由闊達な論議をして結論をだすべきでは。

答 委員会としては、十分に論議している。

討論

削減に**反対**



こいけ はるお
小池 春雄 議員

議会というのは、二元代表制と言われ、町長が提案したものが、住民にとって良い事なのか、悪い事なのか16人の目で確認し賛成・反対となります。

その行政に対する監視役の目が少なくなればなるほど、行政に対するチェックが甘くなるのが当然です。

また町民^{すみずみ}の声が行政に届かなくなることを懸念^{けねん}します。このような観点から定数条例の改正に**反対**するものであります。

削減に**賛成**



たけうち のりあき
竹内 憲明 議員

町では、昭和53年に定数を22人、平成9年に20人、17年に16人としました。

この間削減して、審議が不十分、執行の監視を十分にできなくなる、町民の意見・要望を町政に反映させることが不十分、ということはありませんでした。

定数を削減し、効率的な議会運営をすることで、財政面にも多少の改善が図られると思います。

以上のようなことから、私の**賛成**討論といたします。

削減に**賛成**



かなや やすひろ
金谷 康弘 議員

町では人口増で、町民税が増えています。大変喜ばしいことです。

ですが、保育園・小中学校の建設事業も増えています。また扶助^ふ助^{じょ}費^ぎの伸びも顕著^{けんちやく}です。

現状況下、議員として、町の財政改革に資するため、議員の資質向上を図るため、とりわけ近年の県内市町村の状況を見ましても、定数削減16人から14人は肝要^{かんよう}な判断と理解します。

以上のような理由から、私の**賛成**討論といたします。

議案番号	議員名 議案名	結果			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		賛 成	反 対	議決結果	富岡 大志	大林 裕子	金谷 康弘	五十嵐 善一	柴崎 徳一郎	竹内 憲明	高山 武尚	村越 哲夫	坂田 一広	飯島 衛	岩崎 信幸	平形 薫	山畑 祐男	小池 春雄	岸 祐次	馬場 周二
発委第 2 号	議会議員定数条例の一部改正	14	1	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥
議長は採決に加わっていないため「—」で表示